

3. 経営成績と財政状態

1. 経営成績

(1) 当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、原油価格の高騰等懸念材料もありましたが、好調な米国・中国向けの輸出を背景に企業業績の改善、民間設備投資の拡大をもたらし、一方で、低調であった雇用情勢や個人消費についても回復が見られるようになり、国内景気は回復基調を維持しながら推移いたしました。

自動車業界におきましては、国内販売は、前年同期に比べ下回りましたが、四輪車全体の国内生産台数につきましては、欧州、アジア向け等の海外販売の好調から輸出が増加するなど、前年同期を上回りました。

このような情勢のなかで当社は中期経営計画（'03～'05年度）を策定し、次なる発展に向けて取り組んでいるところであります。

連結売上高は、375億円となり、前年同期に比べ60億9千万円（前年同期比19.4%増）の増収となりました。製品部門別にみますと、軸受製品では139億4千万円（前年同期比15.2%増）、ダイカスト製品では82億1千万円（前年同期比10.2%増）、ガasket製品では16億3千万円（前年同期比1.1%増）、組付製品他では40億9千万円（前年同期比37.2%増）、設備・金型製品では94億4千万円（前年同期比32.5%増）となりました。

連結営業利益は、13億7千万円となり、前年同期に比べ8億8千万円（前年同期比180.2%増）の増益となりました。

連結経常利益は、15億9千万円（前年同期比177.8%増）、**連結中間純利益**は6億7千万円（前年同期比150.8%増）となりました。

(2) 通期の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、原油急騰や利上げに踏み切った米国経済、投資抑制策が続く中国で先行き不透明感があるものの、国内景気は引き続いて回復基調を維持しながら推移すると思われま

す。自動車業界におきましては、カーメーカーの新型車の相次ぐ発表により、自動車販売の堅調な伸びが期待される一方、部品メーカーのグローバルな受注競争が一層進展していくものと思われます。

このような経営環境のなかで、当企業集団といたしましては、「スピードと変革」を新たなスローガンに掲げ、独自技術と信頼により大競争時代を勝ち抜く提案型の部品メーカーとしてグローバルに展開してまいります。

通期の業績につきましては、**連結売上高**は725億円（前期比4.7%増）、**連結営業利益**は29億円（前期比46.8%増）、**連結経常利益**は30億3千万円（前期比45.2%増）、**連結当期純利益**は14億7千万円（前期比48.1%増）を見込んでおります。

また、当期の配当金は、中間配当8円を含め、1株当たり16円を予定しております。

2. 財政状態

[キャッシュ・フロー]

当中間期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、49億1千万円となり前期末より7億円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、17億1千万円(前年同期比21.3%増)となり前年同期に比べ3億円増加いたしました。主な内訳は税金等調整前中間純利益14億4千万円、減価償却費21億8千万円および法人税等の支払額7億9千万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、22億5千万円(前年同期比43.1%減)となり前年同期に比べ17億円減少いたしました。有形固定資産の取得による支出31億4千万円は主に新製品受注による設備投資であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億8千万円(前年同期比20.7%減)となり前年同期に比べ4千万円減少いたしました。これは主に配当金の支払額1億9千万円によるものです。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成14年 9月期	平成15年 3月期	平成15年 9月期	平成16年 3月期	平成16年 9月期
自己資本比率(%)	66.7	65.2	64.2	57.5	57.7
時価ベースの自己資本比率(%)	47.3	44.6	44.8	38.3	40.9
債務償却年数(年)	0.1	0.2	0.5	1.8	1.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	583.6	573.8	97.4	111.9	39.7

自己資本比率: 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額 / 総資産

債務償却年数: 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ: 営業キャッシュ・フロー / 利払い

各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。